

「初夏の山荘の庭」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

東京はすでに猛暑だが、北軽井沢はまだまだ涼しい。今朝は18℃まで気温が下がり、寒いほどだった。東京での汗はどこにいったと思うほど快適である。



昨年の夏、理科教育の研究仲間が大勢来荘した時、離れ(アトリエ兼客室)の古いテラスの床板を踏み抜いて壊してしまった。最近改築し、絶対に腐敗しない樹脂製の広いテラスに生まれ変わった。塗装もスウェーデン風に変えて面目を一新、これでバーベQも夕涼みもでき、お客さんに喜んでもらえるだろう。



今の時期、山荘の庭には、実にさまざまな山野草が咲き始めている。写真は「ヤマオダマキ」(山苧環)。園芸品種のような目立つ美しさはないが、林床に控えめに咲く姿が、私は好きである。



こちらは「キリンソウ」(黄輪草)。孀恋村の山野草好きの友人が、数年前に植えてくれて、すっかり根付いたものだ。まだつぼみだが、これが咲くと、さまざまな蝶が蜜を吸いに来るので、楽しみが2倍になる



こちらは「ウバユリ」(姥百合)。名の通り、咲いても決して美しくも清楚でもない。しかし実に力強く、繁殖力も強い。草刈りでも残しておいたら、今年は8株も見つけた。花は強い芳香を放ち、それが魅力だ。



「山荘野草園」の一番の自慢は「レンゲショウマ」(蓮華升麻)である。埼玉の親戚の庭にあったものを移植し、年々増えている。花は実に清楚で美しく、今から咲くのが楽しみだ。